

**日本初！ミドリムシ入りバイオジェット燃料を
1月15日よりバイオ燃料製造実証プラントの建設工事に活用します
～当社テレビCM制作での使用に続き、ミドリムシ入りバイオ燃料の活用事例第2弾～**

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、社長：出雲充）は、2018年1月15日（月）より、日本初の取り組みとして横浜市の京浜臨海部におけるバイオ燃料製造実証プラント（以下、「実証プラント」）の建設工事にて、発電機の燃料としてミドリムシ（学名：ユーグレナ）を原料に一部使用したミドリムシ入りバイオジェット燃料を試験的に使用開始することをお知らせします。

当社は、2012年の東証マザーズ上場以来、2020年までにバイオジェット燃料を使用した有償フライトを実現することを目標としています。そのような中、2012年に、研究目的としてミドリムシを原料に一部使用した ASTM 規格*1 準拠のミドリムシ入りバイオジェット燃料「Bio-SPK*2」を製造しました。そして今回、その「Bio-SPK」の研究後の未使用分を、実証プラントの建設工事における発電機の燃料として有効活用することを決定しました。

なお、当社では2016年5月に発表したテレビCMにて、撮影に使うすべてのエネルギー源をミドリムシ入りバイオディーゼル燃料でまかなう史上初の試みを行いました。ミドリムシ入りバイオ燃料をエネルギー源として活用するのは今回で2回目となり、ミドリムシ入りバイオジェット燃料の使用と建設工事での活用は日本で初めてとなります。

詳細は以下の通りです。

*1：ASTM規格…世界最大規模の標準化団体であるASTMインターナショナルが策定する規格。世界的に航空機に使用されるジェット燃料はASTM規格への適合が義務付けられている。

*2：Bio-SPK…Bio-Derived Synthetic Paraffinic Keroseneの略称。ASTMインターナショナルで規格化されたバイオジェット燃料の種別の1つ。

バイオ燃料製造実証プラント建設でのミドリムシ入りバイオジェット燃料の使用について

■使用期間：2018年1月15日～2018年6月ごろ（予定）

■使用量：約6kL

■バイオ燃料製造実証プラントの進捗写真（2017年12月22日現在）



■完成イメージ図（2017年2月10日公表）



①事務棟 ②反応装置棟 ③用役設備 ④貯蔵タンク ⑤出荷場

<参考：ミドリムシ入りバイオ燃料を使ったCM撮影について>

当社では2016年5月に、人にも地球にも健康的なCMを作ることを目指し、史上初の試みとして必要な全動力（スタッフ・機材を運搬するトラック、カメラ、および照明）をミドリムシ入りバイオディーゼル燃料でまかなうCM撮影を実施しました。

以上